

ドローンを活用したプラント・インフラ点検で協業を開始しました
—業種の異なる2社の強みを融合し、社会課題の解決に貢献します—

九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：池辺和弘、以下「九州電力」）及び計測検査株式会社（代表取締役：坂本敏弘、以下「計測検査」）は、ドローンを活用したプラント・インフラ点検で協業を開始しましたのでお知らせいたします。

近年、社会インフラの老朽化に起因する維持管理等のコスト縮減や、人命に関わる事故の未然防止等が社会的な課題として重要視される中、今後益々、インフラ設備点検に対するニーズの拡大が見込まれています。

こうした状況を踏まえ、電力事業で培ったノウハウ・実績をもとにドローンサービスを展開する九州電力と、トンネル点検の分野で業界随一の実績を誇る計測検査が、両社の強みを活かす形でドローンを活用したプラント・インフラ点検に関する協業を開始しました。

先月26日には、北九州市内での初の協業案件として北九州市八幡西区にある「三菱ケミカル株式会社福岡事業所」の集合煙突（直径3.8m、高さ190m）の内部点検を実施しました。本点検においては、九州電力の特殊ドローンを用いて煙突内部を撮影し、計測検査の非破壊検査スキルを活用して内部の状態を診断しています。

今後も両社が保有する機材・スキル・ノウハウを組み合わせ、最適化することで、九州全域はもとより全国へ安全・安心なインフラ点検サービスを提供するとともに、新たなサービスの開発に取り組んでまいります。

なお、本協業の実現にあたっては、北九州市及び公益財団法人北九州産業学術推進機構の支援を受けております。

以 上

※ 本件につきましては、本日、北九州市及び北九州産業学術推進機構からも記者発表されております。

【本件に関するお問い合わせ先】

計測検査株式会社 検査部

担当：村岡、勝永（TEL：093-642-8231 / FAX：093-641-2579）

九州電力株式会社 北九州支店 企画・総務部 広報グループ

担当：安枝、溝口（TEL：093-533-8505 / FAX：093-533-9700）



協業作業の様子（点検の事前準備）

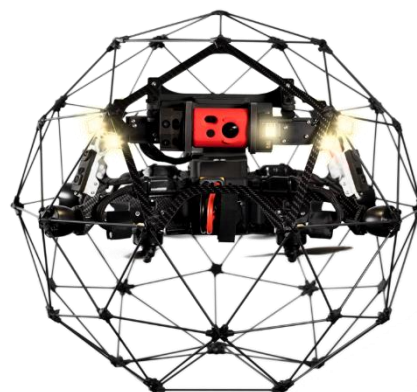


Photo courtesy of Flyability

今回点検に利用したドローン
(Flyability 社製 ELIOS2)

【今回の点検について】

- 三菱ケミカル株式会社福岡事業所では、安全・安定・低環境負荷を追求する信頼される事業所を目指し、デジタルトランスフォーメーション推進・先端技術活用による予兆・予測を主とした先取りの革新的設備管理を推進しております。
- 今回は、赤白集合煙突の安全撤去を実現する工事計画策定を目的として、煙突内部の状態を確認するため、狭小空間を高精度に撮影できるドローンを活用しました。

●本協業に関する両社の取組み概要

(1) 計測検査株式会社

- ドローンや自社開発したトンネル点検用車両 (M I M M : ミーム)、A I による損傷箇所自動抽出技術を用いて、鋼・コンクリート等構造物・機械設備等の総合的設備診断を展開。
- 構造物のひび割れ・損傷等の分析からお客さまへの提案までを行う一貫したサービスの提供により、安全・安心な社会づくりを目指している。
- 2011 年には、北九州市から独創的な技術やサービスを提供する企業として「北九州オンリーワン企業」に認定されている。

(2) 九州電力株式会社

- 社内で培った技術力・ノウハウ・リソースを活用し、2019 年 7 月から「九電ドローンサービス」事業を開始。
- ドローンを利用した空撮や点検、測量、映像編集等のサービスを提供している。
- 今後も「ドローンでお客さまの未来をカタチに」をスローガンに、様々な社会課題の解決に取り組む。